

紙面から

教育隨想

「総合学習」に寄せて

愛知教育大学附属岡崎中学校長

日黒 克彦 氏

この人に聞く
グリーンアドバイザー

成田 典代 氏

特集
町並探訪

| 矢作(旧東海道)再見 |

師弟同行
野村 淳子・竹内 里佳防空演習
(昭和四年)
フォト・ヒストリー・岡崎の教育

9月号

平成10年9月1日

発行/編集

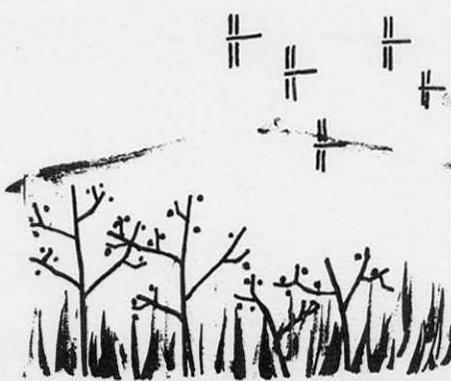
岡崎市教育委員会



(アイガモと仲良し—連尺小)

六月のある日、一年生のA君が私の所に来て、「校長先生は社会の先生だそうですので、遺跡の発掘調査をしている人を知りませんか。知つていたら紹介してください」と言う。良く話を聞いてみると、彼は古代の遺跡に興味があり、本校の行つてゐる「Plan Do 学習」において、遺跡の発掘調査をしている人がどんな思ひ

が先導試行的に実施され、一年生では「人」、二年生では「自然」、三年生では「社会」という主題を設定し、生徒一人一人が自分のテーマを



—教育隨想—

「総合學習」に寄せて



愛知教育大学附属岡崎中学校
長
目黒 克彦

設けて追究活動を行つてきました。A君はテーマを「遺跡の発掘調査をする人」としてその対象となる人を捜していたわけでした。

一年生の場合、初めての取材訪問活動を行つたので、下調べの活動と共に、取材相手の人に自分の意図を明確に伝え、また失礼にならないような依頼の活動から始めねば

ならず、依頼の電話のかけ方・手紙の書き方・訪問取材の仕方を学ぶ時間を取り、そうした手立ての上で各人の追究課題に向かつて活動していく。まさしくそれは一般社会道德を学ぶ、九教科の枠にとらわれない総合的な学習活動と言ふことができます。生徒たちのテーマは誠に種々様々であり、それだけまた多分野の人々に取材し学ぶ活動をしています。これまでにも多くの大学・会社・施設・地域の人々の暖かい協力と励ましを得て、生徒たちも自信を持ち、生き生きと学習活動をしてきました。

「総合學習」が正規の授業として各小中学校で行われることとなれば、その形態は多様であろうとも、子供たちは益々学校から地域社会に出て学習活動を行う機会が多くなるでしょう。従つてこれからは一層多くの社会の人々の理解と協力を得て進めいかなければなりません。そのためにも社会・地域の教育力の發揮が益々必要になると痛感しているこの頃です。

(めぐろ かつひこ)

「話し合い研修」のすすめ

六ツ美西部小学校長
渡辺 勝英

特殊教育は一人でやれるものではないと思う。教師の人間関係が薄くなるとどうしても考え方が独善的になりがちであり、職場からも浮き上がりてしまい、他の職員との協調がうまくいかなくなるからである。

かつては、「宿直室」という先輩教師や同僚教師とも心を許して話しあえる温かみのある場所があつた。勤務時間が終わった後、やつこ豆腐、豆乳、串、するめなどを買い込み、茶碗酒でちびちびやりながら教育観や教師論、教材論、指導法など、本音を出し合つて語り合つたものである。そういう中で職場の人間関係が育まれ、教育のみならず、教師としての生き方を学び合うことができた。

最近は、社会のしくみの変容に伴い、個人化・個性化の傾向が徐々に高まり、当時のような対応は望んで



ふるさとシリーズ



と見立てて、いろいろな種類の植物を寄せ植えしたものです。」

成田さんは喫茶店やギャラリーな

この注文を受けて、作品を作つておられる。また、花壇やアプローチなどへの植え込みも請け負つておられます。きつかけをお聞きした。

最初は趣味でやっていたんです。
それから会社勤めのかたわら、この勉強をしていました。」

「本格的にやろうと思って、会社を辞め、日本園芸普及協会のグリー

クリーンアドバイサー

成田 典代 氏

「ひとつそりと小さくても可憐に咲く
花が好きです。」

成田さんは、ハーブや山野草、きれいな草花を使って、オリジナルガーデンを提案してくれる。

グリーンアドバイザー”というのは、化や苗のことだけでなく、農薬・肥料・土作りなど、園芸のこと全般について幅広く勉強しなければならぬ」という。

科・土作りなど、園芸のこと全般について幅広く勉強しなければならぬ」という。

その穏やかな語りの中に熱い想いが感じられる。

「岡崎の街をすてきな草花でいっぱいにするのが私の夢です。」

をそのまま切り取ってきたようななごむ優しいものばかりだった。ただ、その場だけの見せかけの美しさではない。自然のものを自然に、そして、一つ一つの草花を一番美しく見えるポイントで生かしている。

クの特殊学級の担任である八名の先生方が、お互いに学校の垣根を越えて学級の情報を交換したり、解決できない指導上の悩みなどを相談し合つたりする新しい試みとして持たれた研修会である。

「こんなこと、どう思う」というよ
うな質問から、わいわいがやがやと、
ああでもない、こうでもないといつ
た自由な話し合いとなり、「なるほど」
とうなずく事も多くあった。初めて
の研修会ではあつたが、このプロツ
クの担任同士ではどんなことでも話
せるという気持ちにまでなり、得る
ことも多かつたようである。

住氏名なりたのりよ
所明大寺町字長泉二



クの特殊学級の担任である八名の先生方が、お互に学校の垣根を越えて学級の情報を交換したり、解決できない指導上の悩みなどを相談し合つたりする新しい試みとして持たれた研修会である。

「こんなこと、どう思う」というような質問から、わいわいがやがやと、ああでもない、こうでもないといつた自由な話し合いとなり「なるほど」とうなずく事も多くあった。初めての研修会ではあったが、このプロックの担任同士ではどんなことでも話せるという気持ちにまでなり、得ることも多かったようである。

教師の資質向上のために各種の研修会が実施されているが、たてまえ的研修ではあまり意味がない。共に飲み食いしながらの宿直室的研修の中から、幅広い担任としての感性を育成することも必要である。

明日からの教育実践についてフランクに話し合える雰囲気の醸成が大切にされるとよいと思う。

も不可能なことになつてしまつた。それならそれで、新しい意味での教師集団のチームワークづくりを目指すべきではないだろうか。

(3)



▲矢作橋のたもとに建つ出合之像 ①

町 並 探 訪

—矢作（旧東海道）再見—

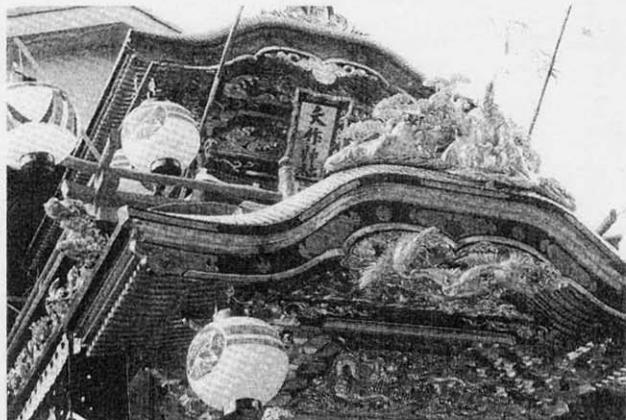
大きな格子戸、防火壁をもつ屋根、間口は狭いが奥行きの深い家など、まだかすかに昔の面影を漂わせている矢作町の旧東海道。

現在、旧道と呼ばれるこの道は、江戸時代には東海道として大変にぎやかな通りであった。交通の要地で、多くの旅人や、商人が扱う品物などが行き交う道であり、矢作川の渡しと市場により発達してきた。今も名鉄名古屋本線、国道二号线が通じている。

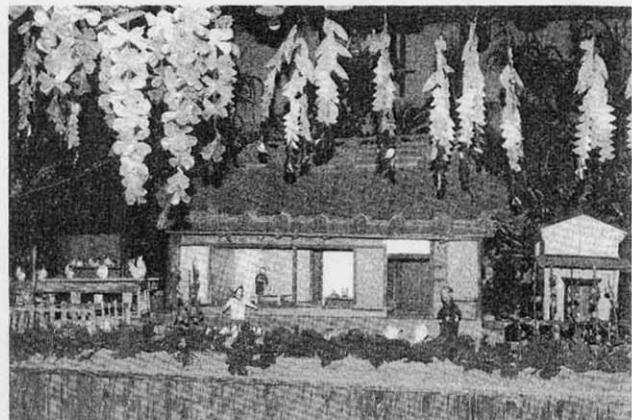
この旧道は、矢作橋のたもとに建つ「出合之像」から始まる。この像は、日吉丸（のちの豊臣秀吉）が蜂須賀小六と出会ったのが矢作橋であつたという言い伝えをもとにして平成元年に建てられた。その他にも、親鸞聖人が腰掛けたと伝えられる石のある勝蓮寺、菅原道真公が祭られているという弥五騰神社、淨瑠璃姫の伝説と「花のとう」の祭りで有名な誓願寺など、この道沿いには歴史的価値の高い建造物が点在している。また、商店も多く建ち並び、中には江戸時代から続いている店もあるという。



▲かすかに昔の面影を漂わせる町並



▲西中の切祭礼の山車 ⑤



▲農作物の吉凶を占う「花のとう」のおためし（誓願寺）⑦



▲矢作川の決壊による多くの犠牲者を祭る宝塔さま ④



▲北野廢寺の瓦を使い石田茂作が造った廢瓦塔 ⑧



▲淨瑠璃姫の墓と並んでひっそり建つ芭蕉の句碑 ⑥



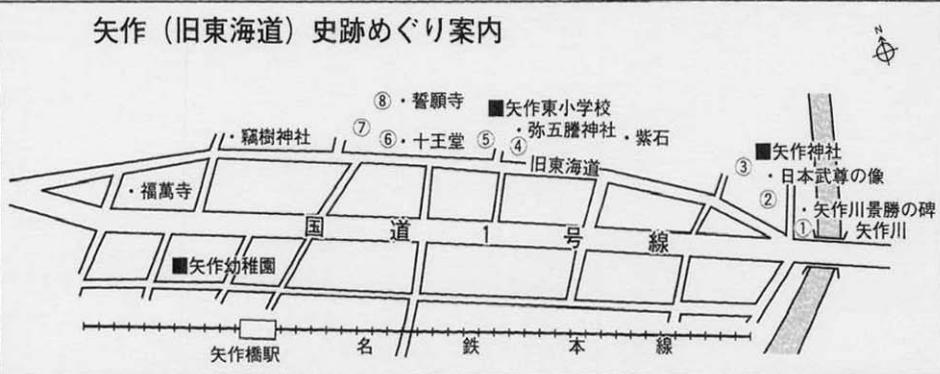
▲今もわずかに残る格子戸のある家 ②



▲新田義貞が戦勝を祈ったといわれるうなり石 ③

近年、大きな高層マンションも建ち、新しく移り住む人が増えてきている。これまでのように自分の店などで働くのではなく、外へ働きに出かける人も増えてきた。商店街には、染物屋や畳屋などが少なくなった代わりにガソリンスタンドやスポーツ用品店、カメラ店などが新しくできている。私たちの生活の変化とともに、歴史の宝庫とも言えるこの通りも、少しずつ姿を変えてきているようだ。

矢作（旧東海道）史跡めぐり案内



みんなともだち

六ツ美西部小学校

原田 真弓



「知らないお顔ばかり。」

入学式以来、小学校生活になじめず、いつも右手の人差し指を口元に当て、困ったような顔をしていたA子。時間

さえあれば、人並みにやれる。しかし、今は時間がない。自分

の世界に比べ二倍速で進む学校生活に戸惑うA子が、一人取り残されていくようでいる。ある日、A子が学校に来るのを渋った。腕白坊主の男の子に言われた「手を挙げろよ。」の一言が、ずっと胸につかえていたのだった。母親や私に相談するまでに何日もかかったA子。彼女と公園のブランコに乗りながら、一つ一つゆっくり話をした。

そして今、プールで何度もA子の横に、優しい笑顔で彼女を応援する友達がいる。

朝から晩までソフトボールを追いかけていた中学校三年間。体調を崩して保健室でお世話になることもなければ、保健委員になつたこともなかつた私ですので、今も思い出るのは、保健室ではなく、グランドにいた先生の姿です。

例えはシートノック。ソフトボールをしたことなどなかったであろう先生が体の向きを変えながら、ピッチャーサードそして最後のファーストまで一本一本打ち分けてくださいました。自然と私たちも、この一本を取り損ねてはと気合いが入ったのです。笑い声は絶えなかつたけれど決して私たちをいい加減な気



みんなの心にうれしい種をまくんだよ。悲しいことを人に話すとみんなが悲しい心を伸良く食べてくれるんだよ。そのために家族やお友達や先生がいるんだよ。」

二学期が終わりに近づいたころ、体が小さくて一人で運べなかつた机を初めて一人で運ぶことができた。その時、「やつたあ、A子ちゃん」とみんなの歓声と拍手が一齊に沸き起つた。みんなの拍手に囲まれたA子のうれしそうな顔。やつとクラスが一つになつた気がした。

持ちにさせなかつたのは、先生のお人柄だと思います。

グランドに立つ先生

愛知教育大学
附属岡崎中学校

竹内 里佳

師弟同行



持ちにさせなかつたのは、先生のお人柄だと思います。

「女性らしく」、卒業記念品のサインボールに先生が書いたくだされた言葉です。幸運にも先生のおそばで仕事ができるようになつた今、優しさやきめ細かい心遣いはもちらん、グランドにいた時の先生のようにおおらかで力強くもありたいと思います。少々欲張りかもしれません、今後もよろしくご指導ください。

サインボールに「女性らしく」と書いたことは記憶にありませんが、私自身に言い聞かせている言葉です。

サインボールとして歩み始めたあなたとの仕事振りを見る機会がありましたね。子供一人一人を大事にして接している姿や、豊かな発想で歯みがき指導に取り組んでいる姿を見て頼もしさを感じたものです。

心の健康が叫ばれている今、養護教諭への期待はますます大きくなります。いつも子供の心の本音と向かい合える養護教諭でありたいと思います。

本氣で向かい合おう

西三河教育事務所

野村 淳子

時でした。部活の顧問の三人目としてソフトボール部で指導の手伝いをするようになつてからでしたね。

二人の先生が部活の指導に来られない時、体を動かすことの好きな私は、見よう見まねでシートノックなるものをさせてもらいました。声を掛けた所へボールが飛んでいかない下手なノックにも、一生懸命ボールに向かつてくれたみんなの優しさを体いっぱい感じることができました。

サインボールとして歩み始めたあなたとの仕事振りを見る機会がありましたね。子供一人一人を大事にして接している姿や、豊かな発想で歯みがき指導に取り組んでいる姿を見て頼もしさを感じたものです。

心の健康が叫ばれている今、養護教諭への期待はますます大きくなります。いつも子供の心の本音と向かい合える養護教諭でありたいと思います。



フォト・ヒストリー 防空演習 岡崎の教育 (昭和4年)



写真提供 岡崎小

・表紙写真
カット
矢 尺 小 重 野 由 佳
北 中 長 坂 有 里 乃

飛行機の出現から二十五年、軍事的な対策として防空という言葉が使われるようになり、満州での軍の動きに合わせるごとく、防空演習がしばしば行われるようになった。避難訓練を行うとともに、高学年男子のバケツリレーによる消火訓練が行われた。

映画でしか見たことのない、洋服と着物姿の子供が入り混じつての演習である。周辺の軍服姿から、平和な現在では感じられない戦争の気配が流れている。少年消防隊が結成されたのもこのころのようである。

「お花いっぱいの岡崎の街にしたい」成田さんは、にこりと笑ってそう言った。成田さんの笑顔の向こうに、未来の岡崎の街並みが見えた。華やかな花に囲まれた美しい街。その美しさに引き込まれてしまいそうになった。いつか夢はかなう。そう思われる笑顔だった。

新学期が始まる。子供たちの久しぶりの笑顔に会える。部活でめいっぱい汗を流してたくましくなった子、遊びや旅行を通して人とのふれあいを深め、学び、成長した子、自分の学習や研究、見聞に没頭できた子……。教室ではまた思い出話に花が咲く。楽しみだ。



アゲハチョウが美しい姿を見せる矢作川の堤防。それに沿って建つ矢作神社に行つてみた。日本武尊が東征の際、自生竹で矢を作ったことが地名の由来だそうだ。今回、多くの史跡を訪れ、昔の人の心に触れる思いがした。歴史に向き合うことはやはり大切である。

澄みわたる秋の空、当時の子供たちは、どんな思いで眺めていたのだろう。空襲に備えての防空演習は、太平洋戦争終結まで続いたといふ。

今日は防災の日。秋空の下、各地で災害に備えての訓練が行われる。受け継がれてきた命を守るために備えである。



*あるべき明日 PHP研究所	堺屋 太一 ¥2800
*絶対音感 小学館	最相 葉月 ¥1680
*「いのち」の教え 校成出版社	東井 義雄 ¥1300
*環境ホルモン入門 新潮社	立花 隆 ¥1400

*若者語を科学する 明治書院	米川 明彦 ¥2800
-------------------	----------------

若者言葉はなべて評判が悪い。てゆうかあー、大人はみんなチヨー忘れっぽい。昔は自分もむちゃくちゃな言葉を使う若者だったくせに、みたいな。

本書はそんな「若者語」をあらゆる角度から大まじめに研究した本である。

最近よく使われる言葉は、けばい(けばけばしい)、すっぴん(素顔)、きしょい(気色悪い)、どたキャン(どたん場でキヤンセル)などなど。若者語の極意は、言葉の自由化・遊戯化にあると著者は言う。